



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 ユニパルス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6842 URL <http://www.unipulse.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)吉本 喬美
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営統括本部長 (氏名)和田 倫幸 TEL 03-3639-6120
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績 (平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	2,750	△4.0	53	—	76	—	2	—
21年9月期第3四半期	2,865	—	△25	—	△2	—	△49	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第3四半期	0.53	—
21年9月期第3四半期	△9.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第3四半期	7,936	4,664	58.8	918.07
21年9月期	8,313	4,810	57.8	921.51

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 4,664百万円 21年9月期 4,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想 (平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	3,750	△1.1	105	—	138	—	16	—	3.11	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 — 社 ()、除外 — 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年9月期3Q	5,377,500株	21年9月期	5,377,500株
22年9月期3Q	296,300株	21年9月期	158,600株
22年9月期3Q	5,170,912株	21年9月期3Q	5,292,495株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、景気の回復傾向が見られるものの、引き続き設備投資の低水準での推移や厳しい雇用環境等、依然先行きが不透明な状況が続いております。当社グループにおきましてもロジスティクス分野やメカトロニクス分野等大型案件の受注は伸び悩みましたが、海外への積極的展開等を行いました。

また、当社グループのより一層の経営効率の改善及び経費削減を図るため、当社及び当社連結子会社である株式会社ナノテックスの本店を東京都中央区日本橋に移転いたしました。それに伴い、旧本店の除却分として固定資産除却損 22 百万円と移転損失 17 百万円及び移転損失引当金繰入額 6 百万円を特別損失に計上いたしました。なお、今回の本店移転により、今後の地代家賃は年間約 12 百万円の費用削減効果を見込んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 2,750 百万円(前年同期比 4.0%減)、営業利益は 53 百万円(前年同期は営業損失 25 百万円)、経常利益は 76 百万円(前年同期は経常損失 2 百万円)、四半期純利益は 2 百万円(前年同期は四半期純損失 49 百万円)となりました。

電子機器製造事業

電子機器製造事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は 2,287 百万円(前年同期比 3.4%減)、営業利益は 76 百万円(前年同期は営業損失 39 百万円)となりました。品目別の内訳は、次のとおりであります。

【ウェイング・FA(ファクトリーオートメーション)】

海外への積極的展開等もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は 1,408 百万円(前年同期比 27.9%増)となりました。

【環境】

当第3四半期連結累計期間の売上高は 105 百万円(前年同期比 17.0%増)となりました。

【ロジスティクス】

前年同期のような大口案件がなかったため、当第3四半期連結累計期間の売上高は 125 百万円(前年同期比 70.3%減)となりました。

【セキュリティ】

当第3四半期連結累計期間の売上高は 9 百万円(前年同期比 24.6%減)となりました。

【情報・通信】

前期途中より株式会社ナノテックスを連結子会社化した影響もありましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は 40 百万円(前年同期比 24.9%減)となりました。

【メカトロニクス】

前期途中より株式会社ナノテックスを連結子会社化した影響もありましたが、前期下期にハードディスク検査装置等記録機器を中心とした不採算事業の大幅な見直しをしたこともあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は 263 百万円(前年同期比 31.8%減)となりました。

【光計測】

前期途中より株式会社ナノテックスを連結子会社化した結果新たに加わった分野ではありますが、前年同期のような大口案件がなかったため、当第3四半期連結累計期間の売上高は 21 百万円(前年同期比 50.9%減)となりました。

【ロードセル等】

当第3四半期連結累計期間の売上高は 244 百万円(前年同期比 30.9%増)となりました。

【その他の電子機器】

当第3四半期連結累計期間の売上高は 67 百万円(前年同期比 5.5%減)となりました。

電設事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は 463 百万円(前年同期比 6.6%減)、営業損失は 27 百万円(前年同期は営業利益 4 百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末より 371 百万円減少し、5,675 百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が 105 百万円増加したものの、現金及び預金が 297 百万円、未収還付法人税等が 126 百万円、棚卸資産が 56 百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末より 5 百万円減少し、2,260 百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より 65 百万円減少し、1,287 百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が 260 百万円増加したものの、1 年内償還予定の社債が 70 百万円、1 年内返済予定の長期借入金が 200 百万円、工事未払金が 30 百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末より 166 百万円減少し、1,984 百万円となりました。これは主に、社債が 90 百万円、長期借入金が 64 百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より 145 百万円減少し、4,664 百万円となりました。これは主に、自己株式を 69 百万円取得したこと、配当金の支払い等により利益剰余金が 75 百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 22 年 4 月 30 日に公表いたしました連結業績予想から下記のとおり連結業績予想を修正いたします。

売上高自体は概ね予想通り推移しておりますが、その内訳が予想よりも海外への積極的展開等で堅調なウェイング・FA(ファクトリーオートメーション)分野等の高採算製品の比率が増加する見込みであり、それに伴い営業利益及び経常利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

平成 22 年 9 月期の通期連結業績予想 (平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,784	70	107	20	3.87
今回発表予想(B)	3,750	105	138	16	3.11
増減額(B-A)	△34	35	31	△4	
増減率(%)	△0.9	50.0	29.0	△20.0	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 9 月期)	3,791	△38	△10	△37	△7.18

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結累計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結累計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準第15号)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準適用指針第18号)を適用しておりますが、当第3四半期連結累計期間に着手した工事契約については、進捗部分について成果の確実性が認められる工事はなかったため、工事完成基準を適用しております。

これに伴う損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	814,932	1,112,879
受取手形及び売掛金	814,615	709,072
完成工事未収入金	30,782	80,140
有価証券	2,804,583	2,804,345
商品及び製品	74,833	96,970
仕掛品	543,860	484,042
原材料及び貯蔵品	341,973	366,143
未成工事支出金	7,691	77,380
繰延税金資産	138,194	163,146
未収還付法人税等	3,226	130,225
その他	106,628	36,763
貸倒引当金	△5,526	△13,897
流動資産合計	5,675,796	6,047,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	595,897	581,863
土地	920,996	895,283
その他(純額)	156,517	168,913
有形固定資産合計	1,673,411	1,646,060
無形固定資産		
のれん	26,210	58,531
その他	23,777	30,410
無形固定資産合計	49,988	88,942
投資その他の資産		
投資有価証券	14,370	12,436
繰延税金資産	18,628	13,809
投資不動産(純額)	199,607	264,861
その他	311,535	247,119
貸倒引当金	△6,575	△6,744
投資その他の資産合計	537,565	531,482
固定資産合計	2,260,965	2,266,485
資産合計	7,936,761	8,313,695

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586,002	325,164
工事未払金	9,095	39,464
1年内償還予定の社債	110,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	458,440	658,440
移転損失引当金	6,686	—
その他	117,379	149,592
流動負債合計	1,287,604	1,352,661
固定負債		
社債	220,000	310,000
長期借入金	1,313,910	1,378,140
退職給付引当金	40,591	36,691
役員退職慰労引当金	12,600	9,450
負ののれん	88,722	107,634
長期未払金	295,543	295,593
その他	12,902	12,902
固定負債合計	1,984,270	2,150,412
負債合計	3,271,875	3,503,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,733,612	1,733,612
資本剰余金	1,733,505	1,733,505
利益剰余金	1,349,259	1,424,807
自己株式	△145,099	△75,107
株主資本合計	4,671,277	4,816,816
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,391	△7,525
評価・換算差額等合計	△6,391	△7,525
新株予約権	—	1,330
純資産合計	4,664,886	4,810,621
負債純資産合計	7,936,761	8,313,695

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,865,048	2,750,047
売上原価	1,801,009	1,579,140
売上総利益	1,064,038	1,170,907
販売費及び一般管理費	1,089,258	1,117,837
営業利益又は営業損失(△)	△25,220	53,070
営業外収益		
受取利息	7,069	5,124
受取配当金	1,006	5
負ののれん償却額	12,140	18,911
不動産賃貸料	23,626	25,858
その他	9,886	7,515
営業外収益合計	53,728	57,416
営業外費用		
支払利息	21,010	25,720
不動産賃貸費用	5,328	5,347
その他	4,577	2,718
営業外費用合計	30,917	33,787
経常利益又は経常損失(△)	△2,408	76,698
特別利益		
貸倒引当金戻入額	13,703	8,629
償却債権取立益	2	—
固定資産売却益	—	269
投資有価証券売却益	599	—
保険解約返戻金	2,233	—
訴訟損失引当金戻入額	19,500	—
新株予約権戻入益	—	1,330
特別利益合計	36,039	10,228
特別損失		
固定資産売却損	79	428
固定資産除却損	125	22,410
減損損失	—	8,880
投資有価証券売却損	—	50
事業構造改善費用	33,830	—
事業構造改善引当金繰入額	24,538	—
移転損失	—	17,432
移転損失引当金繰入額	—	6,686
特別損失合計	58,573	55,887
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,943	31,039
法人税、住民税及び事業税	7,553	8,170
法人税等調整額	18,872	20,133
法人税等合計	26,425	28,303
少数株主損失(△)	△1,980	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49,387	2,736

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年9月14日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、自己株式137,700株の取得を行いました。

この結果、自己株式は当第3四半期連結累計期間において69,991千円増加し、当第3四半期連結会計期間末残高は145,099千円となりました。